伊豆日記 下

857
140

国立国会図書館　タイトル『伊豆日記』　請求記号 857-140

ガラス使用

857-140

うれのとき七夏乃はてを。冬のまつ
伊豆七島をめぐる事のあま
くるに。ゆ小ふねづくのなるべうひおれば
日ごろふくきくのうつを。又
志まく乃風景あるそ人の形容ちがる八鳥
草木ふど。ゆくそしと。志の巣うつ
そもう多るご。その日記ハ子ふるまゝ
して。此元そ乃をハ。恵のこをいぎくく
たり。さてゝ記の一二なまれ侵てあげ
るそ。てもしよまぬ人の為小ふるちあ
れ委八日記を見くたまへ

国立国会図書館　タイトル『伊豆日記』　請求記号 857-140

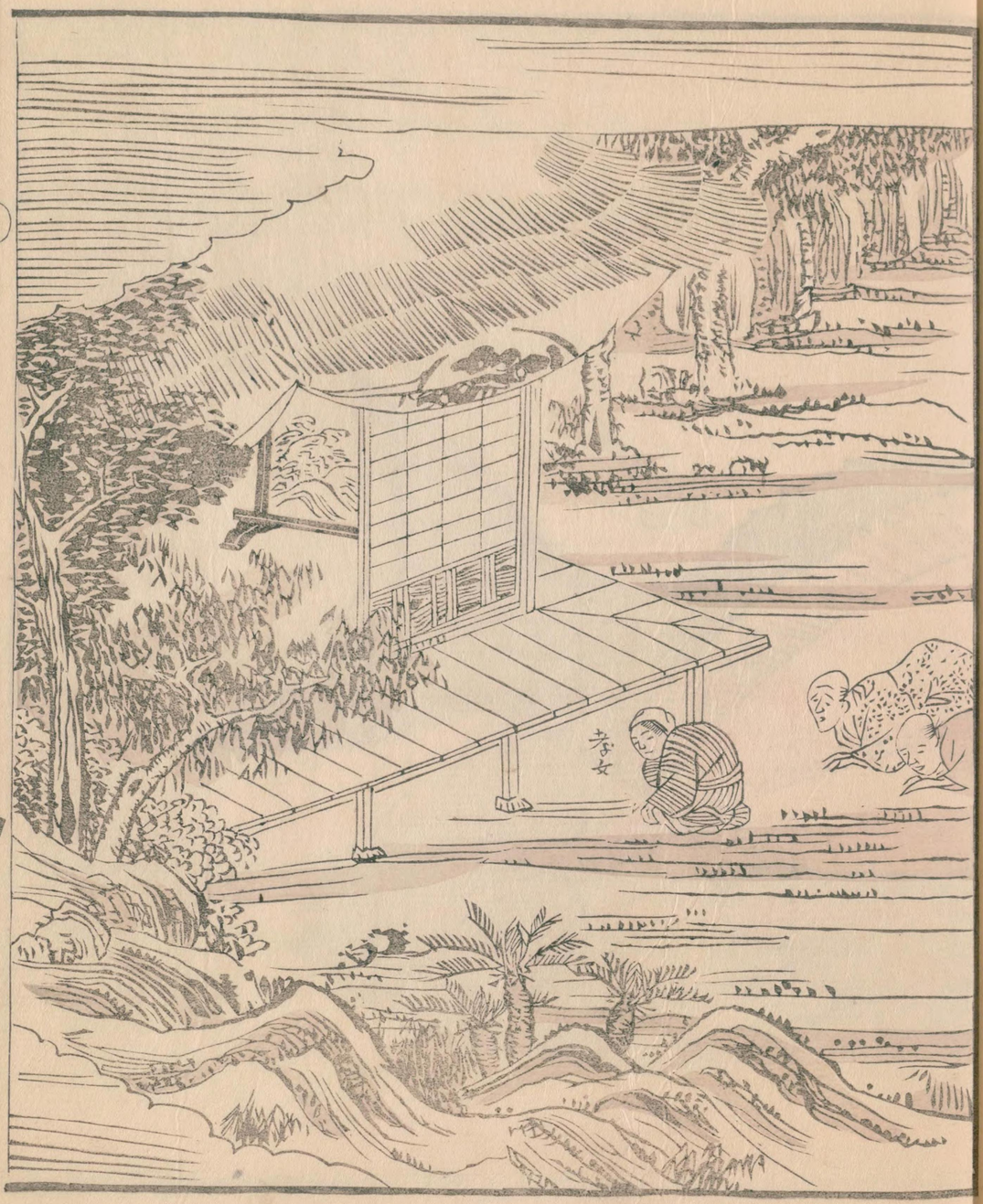
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『伊豆日記』 請求記号 857-140
ガラス使用

永かきもの末
まつをかれあしたな
いもちる人乃
たちゐ
かさゐ

ゆこたる鳥朝明神の
よこむへるなり
いひつゝふ

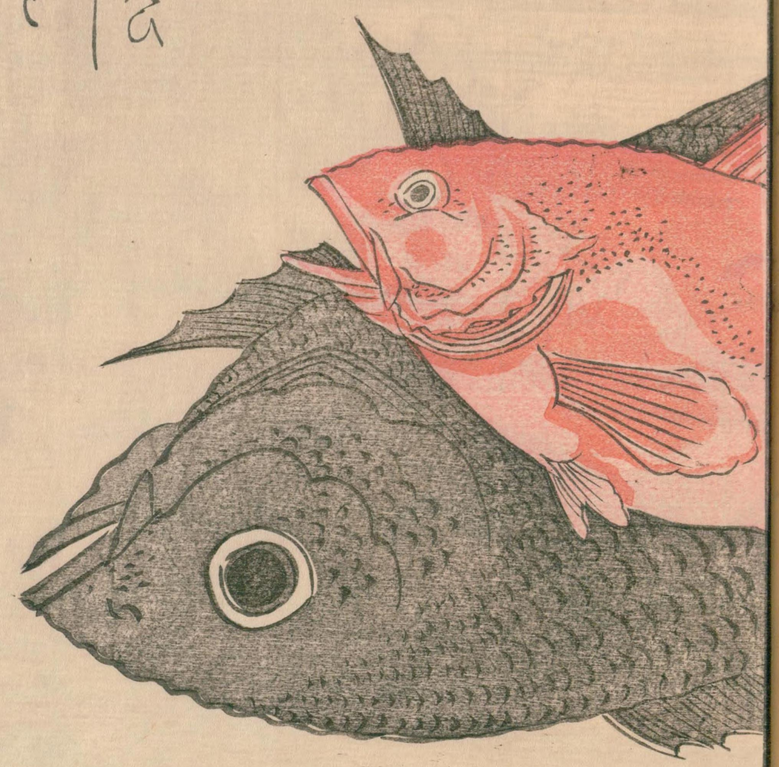
国立国会図書館　タイトル『伊豆日記』　請求記号 857-140
ガラス使用

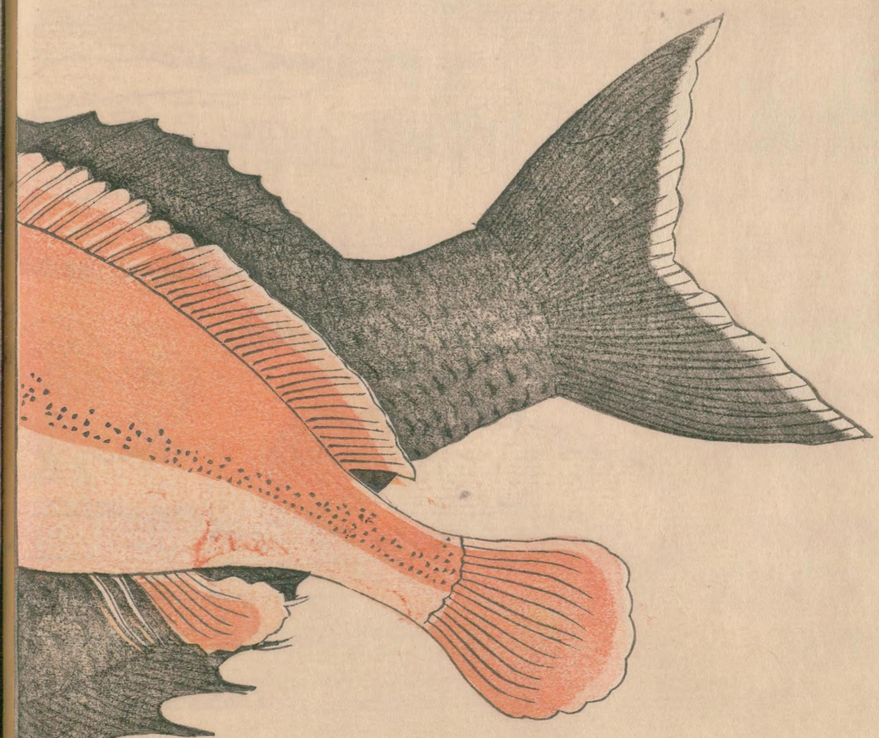


国立国会図書館　タイトル『伊豆日記』 請求記号 857-140

ガラス使用

大のうろこ八文のたひ
いろうすくえ
小のうろこあろうを
つえあろきそう
(まえで)
珊瑚よみ





国立国会図書館　タイトル『伊豆日記』　請求記号 857-140

ガラス使用

牛あハせてうちまもりをゝさるまごはなどのあそびし

国立国会図書館　タイトル『伊豆日記』 請求記号 857-140

ガラス使用

甲に玳瑁の文ありてかゝるものゝ
ありとも見えず。されどもかれも
うすゝ〳〵ゟ亀肉の味ひありて
そこらさまにあぶらすくなく鮫の
多きもゆかしうめづらかなるものとぞ

国立国会図書館　タイトル『伊豆日記』 請求記号 857-140

ガラス使用

八丈小島八方よのわくべき
こころおく谷のせきさへ
かけそしをりてのぼる
九右よとうすぐる又八
そひあぐるよ魚の人へ
まきさをこころあるへ
らしおをそそて
つふりよへをぎきて
いそやもくもとりつ
のぼるつもる

為朝明神鎮坐

国立国会図書館　タイトル『伊豆日記』 請求記号 857-140

ガラス使用

八丈島よりめづらしきものゝふみをくりきえんことをくやしがりてそれをくはゞ犯人のめくばりてそのさまのやうす本のこすゑをたけハ昇ずそれかゝる一枚をあらせバ両乳つきもぐめてあそうしくをりうるまるみびよくのあるもの昇せつぼをつけくろうあるをそゝ島人をおりそのハゝも流人くらひてうるまをうくあるとゆ

国立国会図書館　タイトル『伊豆日記』 請求記号 857-140

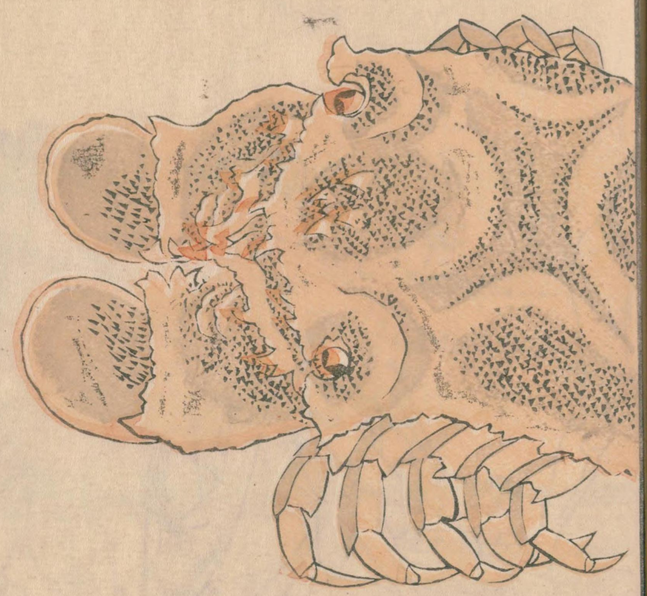
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『伊豆日記』 請求記号 857-140

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『伊豆日記』　請求記号 857-140

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『伊豆日記』　請求記号 857-140

ガラス使用

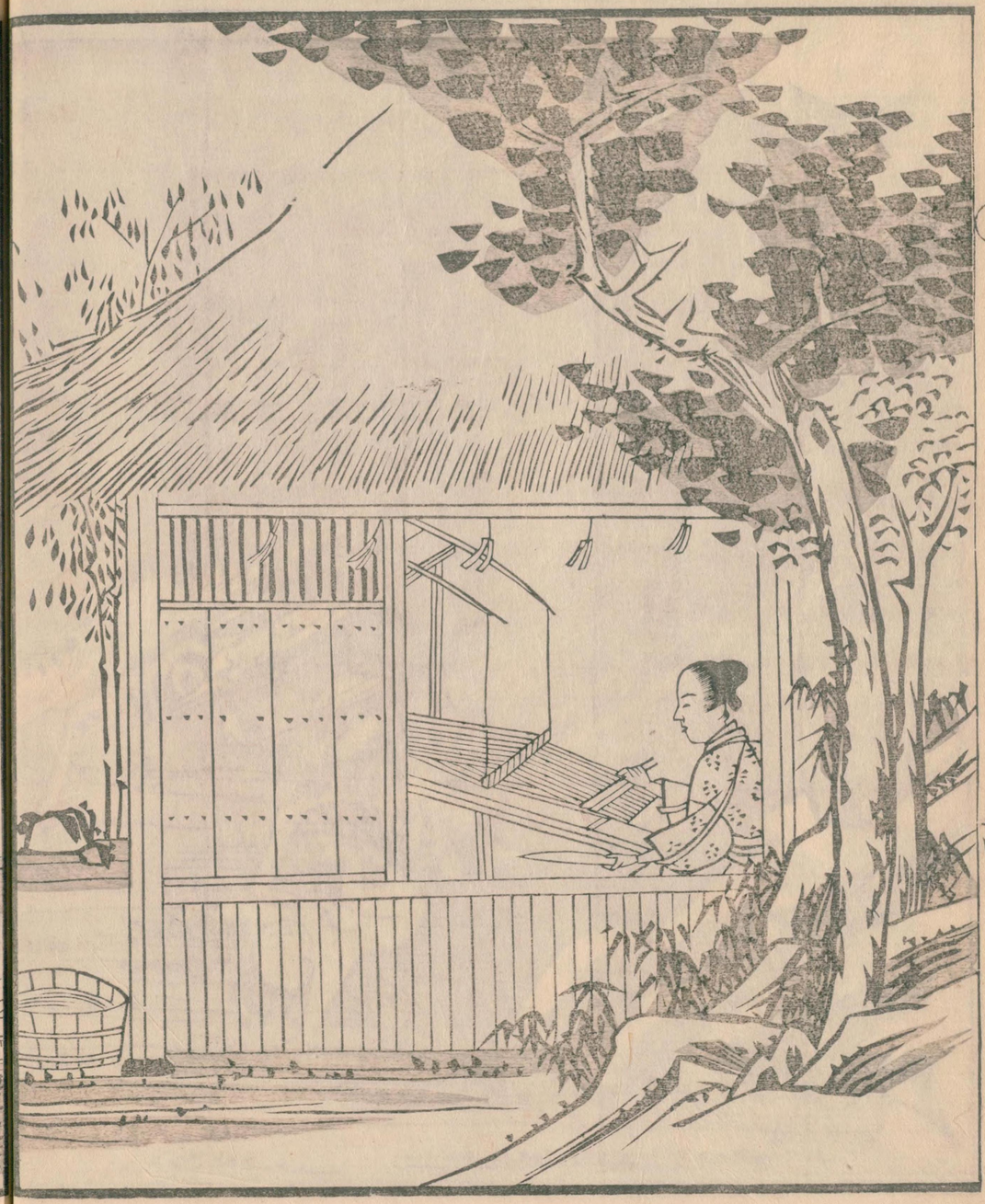
国立国会図書館　タイトル『伊豆日記』 請求記号 857-140

ガラス使用

山猫とりおさえやもすれど
人のよをうらみすさぶるつらさ
そらの日村といふおうて両家の児を
ねさせて母のいでたるをうかゞひ
たの是ぬくいてしう出しもを
母おひうみて児をえかゝ
ゝうとそ

国立国会図書館　タイトル『伊豆日記』 請求記号 857-140

ガラス使用



いしをそめ
さをそうめて
わを

おとゝのをとき侍め
名をおさしつゝ
こつきしそのをさおる
うやまいつゝむる
いくまめやのなり

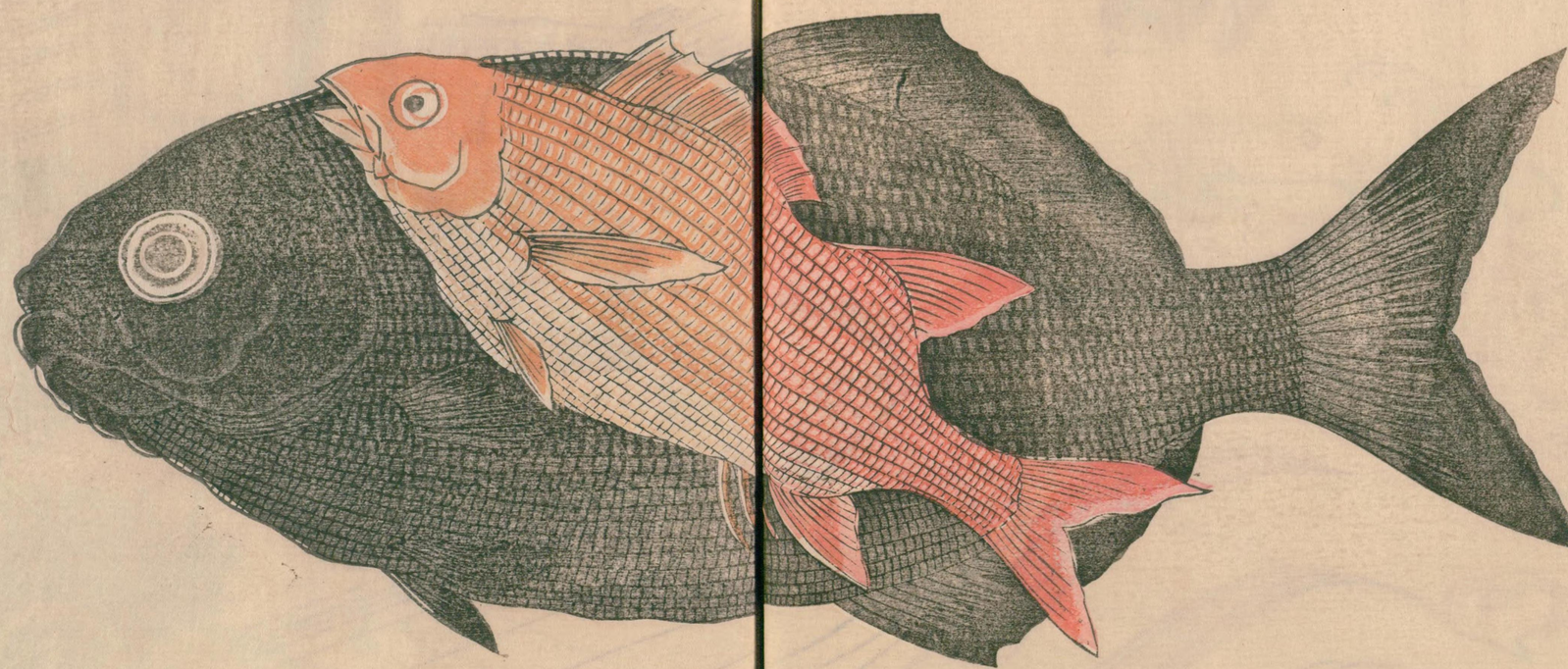
国立国会図書館　タイトル『伊豆日記』 請求記号 857-140

ガラス使用

国地のつゝめよう飛
おゝおゝしく言ふくあ
と伺めよ見るにそら
まそでくれくろゝ
えゆる人の家よ巣を
くいだ

国立国会図書館　タイトル『伊豆日記』 請求記号 857-140

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『伊豆日記』　請求記号 857-140

ガラス使用

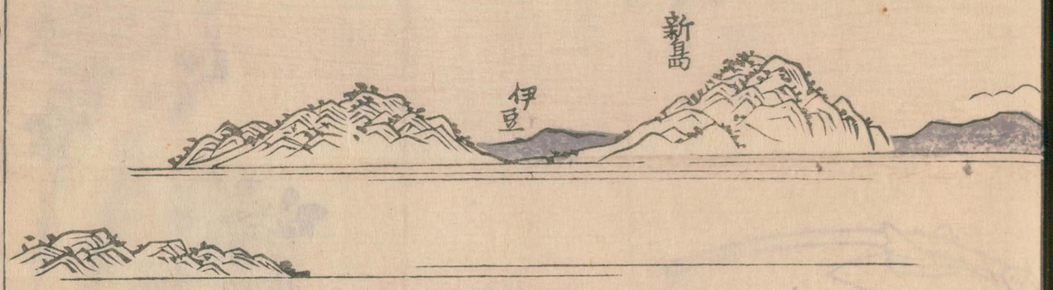
女の髪せーとに
もきハ六尺おまりを
尺る白髪なり
たゝを見るに国花の
ワのき女のかゝり
多し

国立国会図書館　タイトル『伊豆日記』 請求記号 857-140

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『伊豆日記』 請求記号 857-140
ガラス使用

彩島と利島のあいだより伊豆國まで〳〵のごとくに見ゆるそれぞれ人々をうたふうたりに富士山を見るまで景色を伊人の筆にもおよばず



国立国会図書館　タイトル『伊豆日記』　請求記号 857-140

ガラス使用

新島ハ絹ゑく
いそ三ツをて男
それをれうして
農業ハ女のそなり
女つむぎたかをて
おもきをよくもつ
かうたくべきをの
それつむぎたく
もつ

うそき多一よく乾きく
東ふ一ぬゆへいそそるや
由仙ご兼多一

国立国会図書館　タイトル『伊豆日記』　請求記号 857-140

ガラス使用

大勇共うそに成鹹鬼としみ初まる設船
もろ〳〵ゑがきとなりうそにあるなりそぐ
りふとぞ船よりも日和もちてあるにらの
杓などには必ずまれぞ先火を
たきあうて阪をうしてゆるまんと
おもふ東ハ火をたのめ伯をたきて
いろ〳〵のもうえ是又たきぎを盛
かゝせれバ船ゑ熱まてしおそ是
なく〳〵とてかりうもいそきねと
敬ひいふさて男ふよ狩〳〵おりふ
類ひのおもるう其かゝちをふ
もろ〳〵といもつぐ〳〵行〳〵ねどがう〳〵
あしきまにて丸をぎう
なう〳〵いふ

是ハ船よりものろくやて
ものうかゝちもあ〳〵と我もに
もうきそうおを

国立国会図書館　タイトル『伊豆日記』　請求記号 857-140

ガラス使用

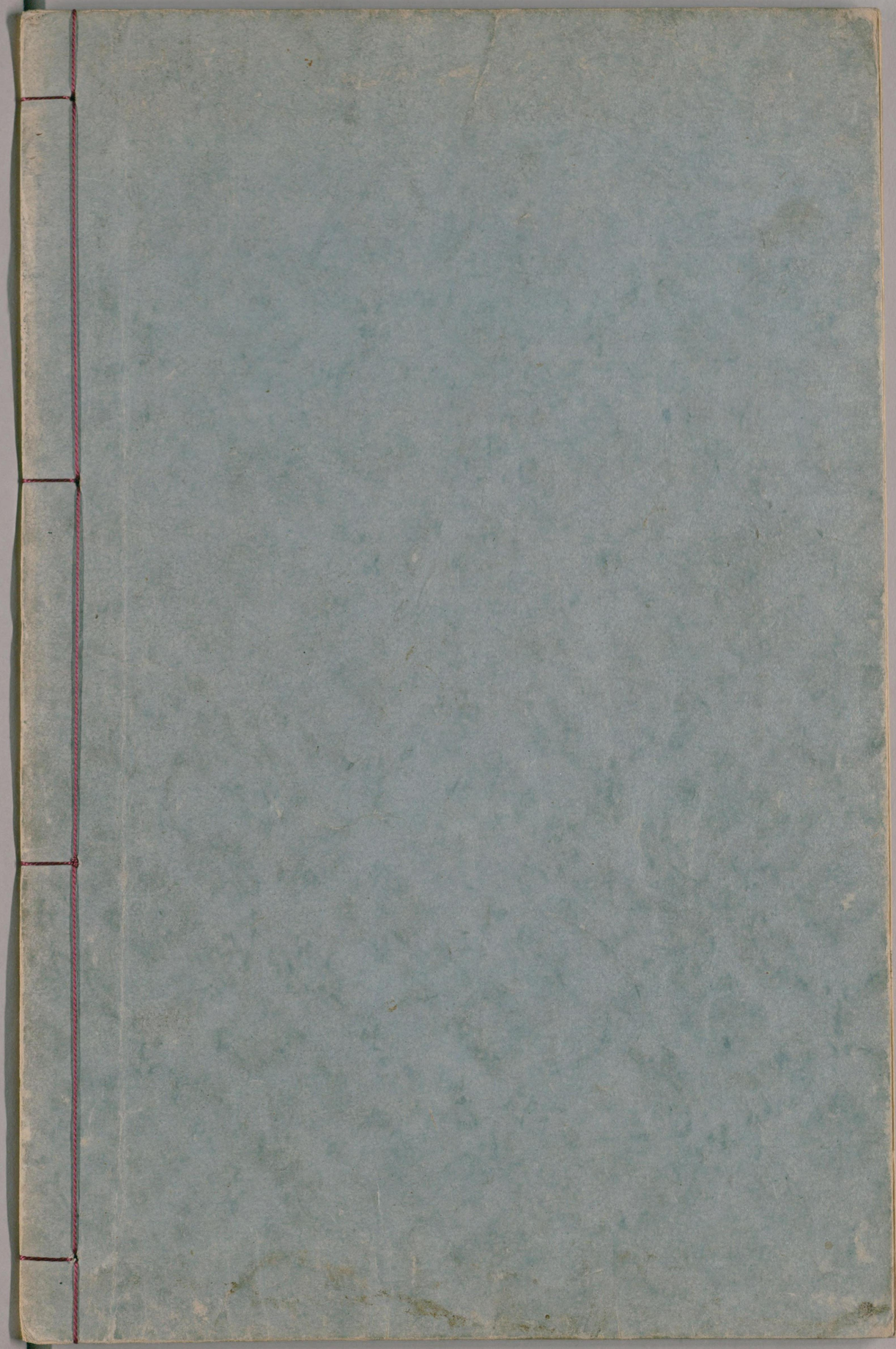
国立国会図書館　タイトル『伊豆日記』　請求記号 857-140

ガラス使用

857
140

おのもとよりかへし事など
等雑色まで迄もあるべき
こともあるべきねども
くさをそまつにもてなすこと
こと万面小ぬくみある人乃ふまで
宗長発句ハ当座ハ
もとうのもなくて
て再度我思ふ
つるかをまで見ばや
ねば書記ぬ奥とふ
亜ふ

国立国会図書館　タイトル『伊豆日記』　請求記号 857-140
ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『伊豆日記』　請求記号 857-140

ガラス使用